

「授業力」を高めるために

広島市教育センター次長 尾形 慎治

公開授業を参観して、「私もしてみたい」と思うことがあります。早速、その学習指導案を使って自分の学級で授業をしてみますが、どうもうまくいかない。こういう苦い経験は、教師ならだれしも一、二度は味わうのではないのでしょうか。

全ての学級で同じ学習指導案を使っても、授業展開が全く同じになることは決してありえません。授業は、子ども、教師、そして教室環境等、様々な要素が絡み合って絶えず変化しながら展開するものです。したがって、子ども、教師、教室環境等が違えば授業が限りなく変化するのは、当然といえます。

では、「私もしてみたい」と感じる授業とは、どのような授業でしょう。教材研究の深さ、発問の工夫、教材・教具の工夫等のすばらしさは当然のことでしょう。これらに加えて、教師が的確に子どもの学習状況を把握し、それを解釈し、どのような手だてで次の学習展開につないでいくかを絶えず考えている授業、つまり、一連の教師の判断力に支えられた授業ではないのでしょうか。この教師の判断力こそが、授業の成否の重要な鍵を握っていると言っても過言ではないでしょう。「教師の判断力を鍛えること」、これが、教師の「授業力」の一層の向上につながる

大きな要素の一つではないかと考えます。

いかにすれば教師の判断力を鍛えることができるのでしょうか。その一つの方法は、授業場面の状況を事後に冷静に振り返り、自分の判断や、選んだ手だては適切であったのかどうかを〈検討〉することです。そして、もし他の手だてを選んでいたら、授業はどう変化しただろうかと〈予想〉することです。このことを通して、具体的な個々の学習状況に応じた教師の手だてのレパートリーが広がり、以後の様々な学習状況に遭遇したとき、より適切な手だてを選び出す判断力が高まっていくものと考えられます。

この方法は、校内研修（授業研究）に取り入れることも可能です。参加者全員が一つの土俵の上で協働して意見を交わすことにより、授業をより多面的にとらえることができるでしょう。さらに、お互いに関わった関係が醸成され、学校の活性化につながっていくことも期待できます。

教育センターでは、こうした授業研究を進めるための資料として、先日、『授業研究ハンドブック』を各学校に配布しました。各学校の「授業力」を高める一助になればと願っています。

もくじ

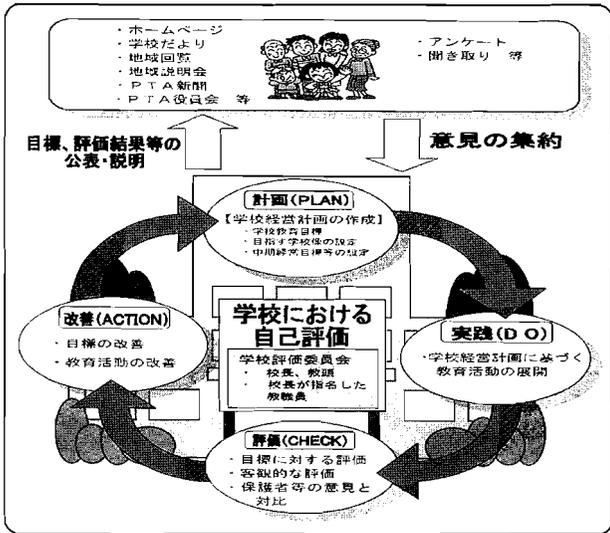
- | | |
|---------------------|----------------------|
| ○巻頭言…………… P. 1 | ○教育情報・コラム…………… P. 4 |
| ○教育研究…………… P. 2 | ○図書資料室の紹介…………… P. 5 |
| ○研修講座だより①…………… P. 3 | ○教育センターひろば…………… P. 6 |

学校評価の充実に係る実践研究

教育センター主任指導主事(事)主任
堂道 和 雄

画一性から多様性、創造性へと社会が変わりつつある中、子ども一人一人の個性を伸ばし、確かな学力や豊かな心を育てていく、「より良い学校づくり」が求められています。学校がその期待に応えるためには、教育活動全般について積極的に情報を提供し、地域ぐるみで教育を推進していくとともに、学校評価を行い、評価結果を公表し、その結果に基づいて、教育活動の改善・充実に図っていくことが大切になってきます。

そこで、計画 (PLAN)―実践 (DO)―評価 (CHECK)―改善 (ACTION) というマネジメントサイクルに基づく学校評価について考えてみましょう。



〔学校評価に関するハンドブック〕P.5 参照

1 計画 (PLAN)

計画については、主に次のような内容が考えられます。

- 前年度の評価結果や改善策を確認する。
- 児童生徒の実態や地域の実情を把握して経営目標を検討し、決定する。
- 具体的な方策を検討し、決定する。
- 評価指標、評価基準を設定する。

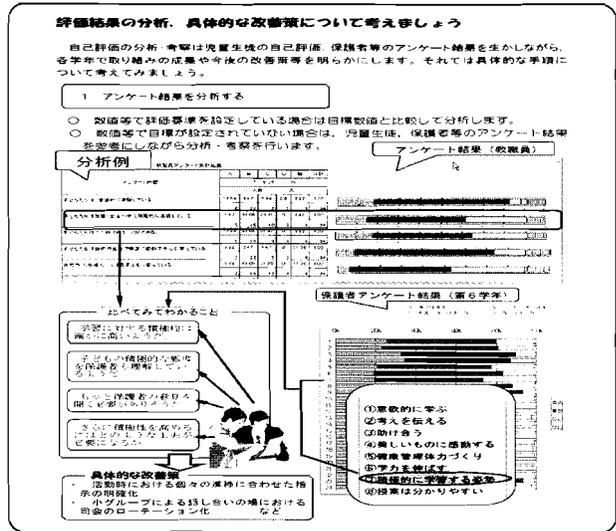
2 実践 (DO)

計画 (PLAN) に基づき、実践します。その際、児童生徒の実態に合った教育活動に変更したり、必要に応じて評価基準を見直したりすることで、効果的な教育活動が期待できます。

3 評価 (CHECK)

教育活動を通して、経営目標がどの程度達成されたか評価し、その結果を分析します。また、分析の際、結果から判断するだけでなく、そのような結果となった背景や理由を検討することが大切です。

※評価者は教職員、児童生徒、保護者、学校協力者会議の委員等が考えられます。

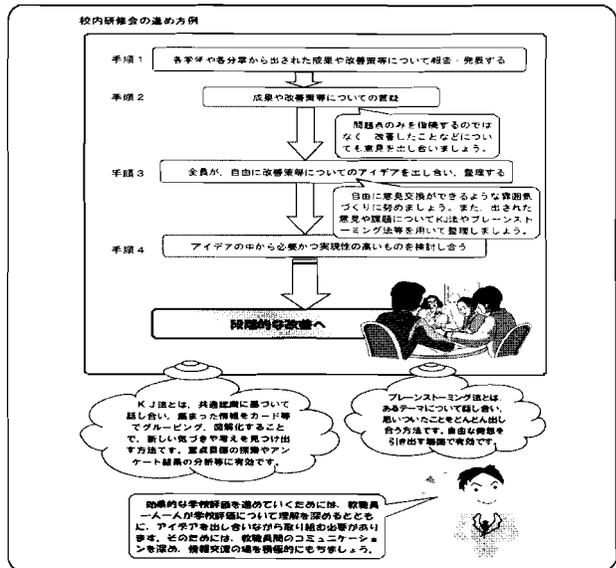


〔学校評価に関するハンドブック〕P.21 参照

4 改善 (ACTION)

評価結果の分析結果に基づき、学校経営や教育活動を見直し、学校経営や教育活動の具体的な改善策を工夫します。

具体的な改善策を立案するためには、教職員一人一人の考えが反映できるような話し合いの場 (校内研修会) が必要です。



〔学校評価に関するハンドブック〕P.26 参照

詳しくは、「学校評価に関するハンドブック」をご覧ください。



研修講座だより①

5月に実施した研修(一部)の概要をまとめました

司書教諭・学校図書館担当教諭研修講座

主 題
子どもの読書活動の充実と司書教諭・学校図書館担当教諭の役割

講 師
広島文教女子大学講師 佐藤 陽祐

講 座 の 概 要

広島文教女子大学の佐藤陽祐先生から、読書活動における現状と読書活動の指導の基本理念について、次のようにまとめていただきました。

1 読書活動における現状

昭和30年代からのテレビの急速な普及により、子どもの本離れ・活字離れが指摘されてきたが、近年の朝の読書活動推進の成果で、第50回読書調査報告(2004年5月実施・全国SLA協会)によると、「1ヶ月に本を何冊読んだか」の回答において、不読者(0冊回答者)が全校種で大幅に減少している。

2 読書活動の指導の基本理念

読書活動の指導の基本は「言葉を学ぶ」「感性を磨く」「表現や想像力を豊かにする」ことであり、豊かな読書生活は、本を通して得た体験を自分の体験に組み入れることができ、自己教育につながる。また、司書教諭の職務を次のように整理されました。

- 指導的・奉仕的職務(学校図書館の利用指導, 児童生徒・教師へのレファレンス, 児童生徒に応じた読書指導, 生徒会図書委員会の指導等)
- 管理的職務(図書館運営計画の立案実施, 予算案の編成と支出の調整, 施設備品の整備, 公共図書館等との連絡協力等)
- 技術的職務(図書館資料の選択と構成, 分類の決定, 目録の作成等)

子どもが本に気軽に触れられる環境を整えるためには、他の教員や保護者との連携が不可欠であり、家庭・地域・公共図書館との一層の連携を図り、読書活動への動機付け並びに習慣付けのための指導の工夫が必要

※参考となる図書をご紹介します。

- 『小学校・中学校における読書活動とその指導 -読書意欲を育てる-』(文部省)
- 『学校図書館・司書教諭講習資料』(全国学校図書館協議会)
- 『新しい時代に対応した学校図書館の施設・環境づくり ~知と心のメティアセンターとして~』(文部科学省)
- 『学校図書館を子どもたちと楽しもう』(若林千鶴)

キャリア教育講座

主 題
キャリア教育の基本的な考え方とキャリア・カウンセリング

講 師
広島大学助教授 栗原 慎二

講 座 の 概 要

広島大学の栗原慎二先生から、キャリア教育について次の4点についてまとめていただきました。

1 キャリア教育が求められる背景

- 子どもたちの実態……個性の埋没化, 無気力, 無関心
- 社会の変化……年功序列と終身雇用制の崩壊, 業務の変化
- 企業が求める資質・能力……コミュニケーション能力, 基本的態度やマナー, タフな行動力

2 従来の進路指導からキャリア教育へ

マッチングモデルからキャリア発達の支援のための6領域

- ①自己理解(キャリア・アンカーを知る) ②進路情報(判断材料の提供) ③啓発的体験
- ④進路相談(キャリア・カウンセリング) ⑤自己決定 ⑥追指導

※キャリアとは、生涯を通じての人間の生き方や表現

※キャリア・アンカーとは、自分の職業選択へのこだわり(その人の根底となっている価値観)

3 キャリア教育の最終目標

子どもたちが明確な目的意識を持って日々の学業生活に取り組み、「生きる力」を身に付け、激しい社会の変化に対応し、主体的に自己の進路を選択・決定できること。(社会人として自立していくこと)

※発達段階に応じて、小学生には夢を描かせ、中学生には自己有能感を持たせ、高校生には人生設計をさせる。

4 キャリア・カウンセリングの基本……指導ではなく、職業や将来について一緒に考えていくこと

留 意 点

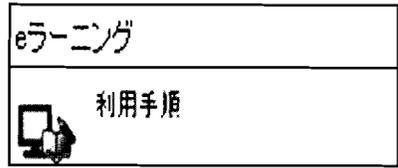
- ①一生懸命に聞いて理解する ②内容や感情をフィードバックする ③がんばっていることを認める

e-ラーニング研修が家庭からでもできるようになりました

教育センターでは、昨年度の11月からコンピュータの技能向上や職場の人間関係の改善を図る e-ラーニング研修を実施しています。今年度、e-ラーニングの利便性を向上させるために、学校からだけでなく、家庭からもインターネット回線を利用してe-ラーニング研修を実施していただくことが可能になりました。

〈家庭からe-ラーニング研修をしていただく際の注意事項〉

- ご家庭に ADSL や光などのブロードバンドのインターネット回線が必要になります。
- これまでと同様に、ID とパスワードの登録申請が必要です。
 学校にあるコンピュータから教育センターの内部 Web ページ (192.168.6.10) を閲覧し、右の e-ラーニングのコーナーにある利用手順のページを開き、「ユーザー登録について」をご覧ください登録申請を行ってください。毎週金曜日に1週間分のユーザー登録を行っています。
- 「学習をはじめの前に」をご覧ください、必要に応じて、ご家庭で使用されているコンピュータの設定変更や、必要なソフトウェアのインストールを行ってください。
- ※ コンピュータの設定等がよく分からない場合は、毎週金曜日の9時～17時にサポートデスクが教育センターに派遣されていますので、問い合わせをしてください。



今年度は、下の表のように3期制でe-ラーニングを実施します。発行されたIDとパスワードは、それぞれの期間内(最大4ヶ月間)有効となります。空いた時間を有効活用して、e-ラーニングにチャレンジし、スキルアップしてみませんか。

講 座 名	第1期(4月～7月)	第2期(8月～11月)	第3期(12月～3月)
よくわかる Excel 2002 基礎	}	}	すべての講座を受講可能
よくわかる Excel 2002 応用			
よくわかる Word 2002 基礎			
よくわかる Word 2002 応用			
職場のアサーション			
職場のストレスと対処			
情報セキュリティ(入門編)			
よくわかる PowerPoint 2002 基礎	「プレゼンテーションソフト授業活用講座」の受講者が優先して受講		
TOEIC Test 730点対策コース	「英語教員研修講座」の受講者が優先して受講		

コウム

〈キャリア教育について〉

そもそも「キャリア」の解釈・意味付けは、極めて多様であり、また、時代の変遷とともに変化していますが、「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議」では、「キャリアを「個々人が生涯にわたって遂行する様々な立場や役割の連鎖及びその過程における自己と働くこととの関連付けや価値付けの累積」としてとらえています。

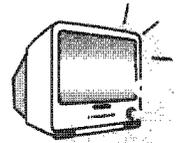
したがって、「キャリア教育」は、「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育」ととらえられます。いわば、「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てる教育」と言えるでしょう。こうしたキャリア教育が求められる背景としては、経済のグローバル化や合理化が進展するなかで、雇用形態の変化や、若者の勤労観・職業観の未熟さ、社会の高学歴化に伴うモラトリアム傾向、直接体験や異年齢者との交流・機会の減少に伴う子どもたちの精神的・社会的自立の遅れ等、学校から社会への移行をめぐる様々な問題や子どもたちの生活・意識の変容等が指摘されています。

キャリア教育は、一人一人のキャリア発達や個としての自立を促す視点から、従来の教育の在り方を幅広く見直し、改革していくための理念と方向性を示すものであり、子どもたちの発達段階や発達課題を踏まえ、その全人的な成長・発達を促す視点に立った取組を積極的に進めることが必要です。また、そのためには各学校が各領域の関連する諸活動を体系化し計画的、組織的に実施することができるよう、教育課程編成の在り方を見直していくことも大切になってくるでしょう。

(引用:「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」2004年)



図書資料室の紹介



図書資料室を

リニューアルしました!

- 全国の教育研究所から送られてきた研究紀要等を入り近くに移動し、最新の教育情報を手軽に見ていただけるようにしました。必要な教育情報については、キーワードで検索することができますので、気軽に職員にお声をかけてください。
- ビデオの視聴と貸し出しが図書資料室でできるようになりました。エルネットで配信された番組のビデオも貸し出しています。
- 被爆60周年を迎え、平和学習コーナーを設置しています。
- 特設コーナーでは、毎月テーマを決めてお薦め本を紹介しています。
- 2階ロビーの教育雑誌コーナーには、35種類の月刊誌を配架しています。是非ご覧ください。

図書資料室のご案内
広島市教育センター

月刊雑誌 過去3年間の教育雑誌がそろっています

特設コーナー 最新の教育情報

平和学習コーナー

全国の教育研究関係機関の最新の教育情報がそろっています

広島市教委 一階団体
課外費 課本資料 市小研 市中研

小・中・高・幼稚園及び幼稚園の研究成果物
小・中学校教科書 大学の研究紀要 広島大学・附属小・中・高・産

政府刊行物 学習指導一般
教育史 国語・国語 心理 教育学 教育一般

別冊・別集 法規 学校図書 国語 音楽
自然 理科 功徳・物産 地理 歴史 社会

科学 化学 音楽 芸術 図工 技・版
特活 遊藝 言語 英語 保・体 産業 技術

職工 生徒指導 生活 幼児 特別支援 社会教育
文学 社会科 哲学 複配

年次図書 研究員 送贈資料 記念誌 県・市史 公民館 広島市 広島市

16年度後期に購入した図書の一部を紹介します!

310 政治、平和教育

- ・はじめて出会う平和学
- ・ビジュアルブック -語り伝えるヒロシマ・ナガサキ- (全5巻)

370 教育一般

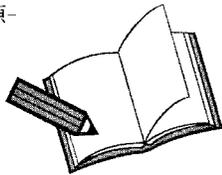
- ・関わることへの意志 -教育の根源-
- ・日本子ども資料年鑑 -2005-

373-02 教育法規

- ・学校保健・学校安全法令必携

374 学校経営・管理・評価

- ・最新学校管理規則質疑応答集
- ・特色ある学校づくりのための新しいカリキュラム開発
- ・学校の外部評価と説明責任
- ・誰もが活用したい「学校の自己評価・外部評価」
- ・若手教員育成プログラム 42
- ・OJTで部下がおもしろいほど育つ本



375-01 学習指導法

- ・教師力アップのためのコーチング入門
- ・習熟度別指導の何が問題か
- ・幼児の知恵の保障を願って
- ・危機的な状況にある食生活を見直す授業
- ・授業で育てる「学びの力」-「確かな学力」と「学びの成立」を実現する指導-

375-11 道德教育

- ・道德性を発達させる授業のコツ -ピアジェとコールバーグの到達点-

375-12 特別活動

- ・図解 はじめる小学校キャリア教育
- ・キャリア教育入門 -その理論と実践のために-

375-13 教育工学・視聴覚教育

- ・プレゼン能力をぐんぐん伸ばす! プレゼン指導虎の巻
- ・インターネットって教育に必要ですか -学校IT教育Q&A-
- ・情報モラルを鍛える -子どもに求められるコミュニケーションの力-

375-15 生活科教育

- ・「生活科」のぼうけん

376 幼児教育

- ・幼児の造形ワークショップ1 -平面造形編-
- ・幼児の造形ワークショップ2 -立体造形・造形あそび編-
- ・幼児の造形ワークショップ3 -基本と展開編-

378 特別支援教育

- ・障害のある子どものための算数・数学 -数と計算-
- ・障害のある子どものための算数・数学 -量と測定-
- ・特別支援教育の授業ヒント集 2 知的障害教育 国語(音声言語)編
- ・病弱教育Q&A PART IV

年次図書

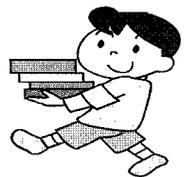
- ・文部科学法令要覧
- ・日本国勢図絵
- ・発達障害白書
- ・解説教育六法
- ・読売年鑑
- ・理科年表

追録

- ・教育法令集
- ・特別支援教育ハンドブック
- ・情報教育実践ガイド -コンピュータ・インターネットの活用事例-
- ・教務主任執務ハンドブック
- ・養護教諭 -毎日の執務とその工夫-
- ・学校図書館の活用実践事例集
- ・最新の教育法規質疑応答集

図書資料室の利用について

- 図書貸し出し 個人…5冊まで/2週間以内 団体…10冊まで/3週間以内
- ビデオソフト貸し出し 個人・団体とも3点まで/1週間以内



職員・分掌

事業等	職名	職員	主な担当業務
	所次	長 升尾 好博 長 尾形 慎治	所務 総括 所務 管理・執行
管理部	庶務	主幹(事)主任 神川 巧 主幹 中村 良孝 主事 栗栖美保子	管理部総括, 施設設備管理 安全点検, 文書管理等 予算・決算, 文書, 経理等
研修部	指定研修等	主任指導主事(事)主任 藤村 和彦 指導主事 島本 圭子 指導主事 水ノ上俊一 指導主事 正原 直行 指導主事 山領 勲 研修指導員 福本喜代子 研修指導員 辻 修壯 研修指導員 井東 弘	研修1部総括, 英語教員研修担当 主任主事研修, 経験者研修等担当 初任者研修, 管理職研修等担当 10年経験者研修, 管理職研修等担当 ステップアップ研修, 障害児教育新規担当教員研修等担当 指定研修, ステップアップ研修等担当 指定研修, ステップアップ研修等担当 指定研修, ステップアップ研修等担当
研修部	一般研修等	主任指導主事(事)主任 堂道 和雄 主任指導主事 住吉 磨 指導主事 大下 恵子 指導主事 谷田 増幸 指導主事 清水 剛 指導主事 岩田 浩一 研修指導員 濱田 昭法 研修指導員 松井貴美子 図書資料分類整理員 大下千賀子	研修2部総括 コンピュータ研修, e-ラーニング研修等担当 教科等別研修, 指導主事研究等担当 課題別研修, 研究員研修の推進等担当 職務別研修, グループ研究等担当 職務別研修, コンピュータ研修等担当 一般研修, 研究員指導等担当 一般研修, 研究員指導等担当 図書資料室管理関係事務



研究員 (平成17年4月～平成18年3月)

今年度は次の7名の先生方が、それぞれの専門分野で研修を進めておられます。

- 国語科教育: 倉本 理恵(安北小学校)
- 体育科教育: 吉田 昌史(五月が丘小学校)
- 生徒指導・教育相談: 笠井 典子(井口台小学校)
- 美術科教育: 山田 直子(安西中学校)
- 英語科教育: 埜 ゆかり(口田中学校)
- 英語科教育: 福原 一夫(広島商業高等学校)
- 幼稚園教育: 金子 忍(亀崎幼稚園)

題字
広島市立南観音小学校校長 田原 和子

表紙絵
広島市立牛田中学校教頭 中島 健二

職員の異動

- *離任 ～在職中はお世話になりました～
井坂 雅浩 主任指導主事(事)主任(己斐小学校へ)
有馬 健雄 研修指導員(退職)
藤野 軍治 研修指導員(退職)
- *就任 ～どうぞよろしくお願ひします～
神川 巧 主幹(事)主任(広島市立大学附属図書館から)
島本 圭子 指導主事(五日市中央小学校から)
清水 剛 指導主事(落合東小学校から)
岩田 浩一 指導主事(広島工業高等学校から)
辻 修壯 研修指導員(矢野中学校から)
井東 弘 研修指導員(美鈴が丘中学校から)

編集・発行/広島市教育センター
〒732-0068 広島市東区牛田新町一丁目17番1号
TEL (082) 223-3563 FAX (082) 223-3580
E-mail: center@center.edu.city.hiroshima.jp
外部Webページ: <http://www.center.edu.city.hiroshima.jp/>
内部Webページ: <http://192.168.6.10/>

編集後記
新メンバーで「元気の出る・頼りにされる・共に汗を流す教育センター」を目指していきます。よろしくお願ひいたします。